
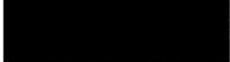



放射線科画像診断報告書

(診療情報提供書)

患者ID		検査	CT	3F 西
NAME		依頼医	院内 脳神経外科  先生	
年齢	64Y	放射線科		
性別	M	備考	住所・電話番号・診断名	
検査日	2011年05月23日		紹介目的・既往歴・家族歴	

<臨床情報>

5/9 発症の急性硬膜下血腫、脳挫傷
follow up

<画像所見>

頭部CT

前回検査2011年5月11日／5月20日と比較しています。
5月17日にて左前頭葉／側頭葉領域に出血の所見が認められ指摘されている脳挫傷の所見と考えます。5月20日では除圧術後です。頭蓋内に空気濃度領域が認められますが術後に伴う所見と考えます。5月20日に比べて中心線の偏位に回復が認められ常圧効果を反映した所見と考えます。左側頭葉背側に線状の高濃度領域が認められ出血を反映した所見と考えます。5月17日に比べて範囲は縮小して認められますがやや高い濃度を呈しています。サイズ／形態／濃度についてフォローアップとして下さい。

右頭頂葉領域に皮質に一致する線状の高濃度領域が認められますが5月20日と所見は同等です。

橋左側に直径4mm大の出血の所見が認められますが5月20日に比べて軽度縮小を呈しています。経過中の吸収過程の所見と考えます。

<Impression>

頭蓋左側除圧術後と考えます。中心線の偏位に改善が認められ除圧効果の所見と考えます。左側頭葉背側領域に高濃度領域が認められ出血の所見と考えます。5月17日に比べて縮小して認められますがやや高い濃度を呈しています。経過フォローアップとして下さい。

橋左側の高濃度領域は縮小して認められ出血の吸収過程の所見と考えます。

別紙の参照画像をご覧下さい。

患者ID

検査日 2011年05月23日

3F 西

患者名

依頼医 院内 脳神経外科 [redacted] 先生

NAME

備考

年齢 64Y

性別 M

検査 20

参照画像

